

安全安心に暮らせることの大切さ、ありがたさを大事にし、市民の皆さまのいのちと暮らしを守り抜くことが大きな使命と決意を新たに、将来をしっかりと見据え、基本姿勢を元に重点施策や主要施策を推進します。

重点施策

感染症から市民のいのちと暮らしを守るについて

感染症は未だ収束したとはいえない状況であり、引き続き強い危機感を持ち感染防止対策に当たる必要があります。

既に、新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチームを設置しました。市民の皆さまがワクチンの接種を受けやすい環境を迅速かつ効率的に整備するよう全庁体制で準備を進めるとともに、ワクチンに関する正確な情報をテレビのデータ放送など多様な手段で伝え、一刻も早く市民が安心してワクチンを受けられるよう取り組みます。

同時に、感染症拡大に伴う緊急事態宣言により厳しい環境にある市内の事業者に対して、事



▲琉球朝日放送のデータ放送イメージ図

業継続給付金を支給するとともに、生活が困窮する世帯への相談体制の強化を図ります。

また、早い時期に追加の経済対策などの施策を補正予算案として示していきたいと考えております。

若者や子育て世代の希望がかなうまちについて

妊娠・出産・子育て期を通して地域で安心して子育てができるよう、母子手帳アプリの導入や養育支援訪問・産前産後サポート、幼児教育の無償化を進め、ライフステージに応じた包括的なサービスを提供するとともに、保護者間の交流促進や相談しやすい環境づくりに取り組み、孤独感・不安感の解消を図ります。

また、新たに保育士奨学金返済支援制度を設け、ICTを促進するなど、処遇を改善することにより、保育教諭の確保に努め、待機児童の早期解消を図るとともに、多様な子どもの居場所を切れ目なく提供することにより、親子の笑顔があふれ、子育てが楽しく感じられる地域づくりに取り組みます。

さらに、子どもの未来支援事業や就学援助などの子どもの貧困対策を推進するとともに、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの一体的な運営を図

が安全に過ごせる場所の確保に取り組みます。

市民みんなが心身ともにすこやかに暮らす糸満市について

健康で健全に暮らす環境づくりについては、子どもの定期予防接種、高齢者のインフルエンザ予防接種等の接種率向上に努め、感染症まん延や重症化予防に取り組みます。そのうえで、軽スポーツ教室などの開催や、学校体育施設の活用による健康増進を図るとともに、生活習慣病予防および重症化予防に重点をおいた保健指導を行い、市民の健康づくりを支援します。

保健師、管理栄養士等の保健分野の専門人材を増員することにより保健基盤の充実を図ります。また、地域活性化支援事業補助金の充実など地域拠点である公民館の利便性を高め、市民の世代間交流を推進することにより生き生きと暮らせる地域づくりを推進します。

支え合って共に生きる平和のまち・糸満市について

日常的な安全づくりについては、災害発生時に配慮した安全安心な環境整備に務めるとともに、子どもたちの安全を守るため、市内各小学校に近接する横断歩道のカラー塗装の実証実験を行いま

りつつ、児童虐待防止条例の制定に向けて取り組むことにより、貧困の連鎖を断ち切り、虐待のない社会の実現を目指します。

学校教育については、学習の基礎・基本の定着化を図るとともに、児童生徒一人一台のPC環境や学校ICT環境を充実させ、新たな社会に対応するための生きる力の育成に取り組めます。

また、将来を見据えたキャリア教育の推進や地域人材を活用したコミュニティスクールや地域学校協働活動を展開することにより、学校、地域が一体となり、郷土を愛し持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成します。



▲学校運営協議会の様子

雇用の創出と多様性を実現し、安心して働けるまちについて

水産物卸売市場や観光拠点施設のオープン、さらに糸満工業団地および真栄里地区物流団地など、市の経済振興に関する戦略的な取り組みを実行するために、アドバタイザー人材登録制度の活用や人事交流を通して、経済・物流や産業に優れた知見を市政に反映し、県外や海外への販路拡大に必要な知

す。また、支え合う地域で安心を生むために、総合防災訓練を実施し防災力の強化を図ります。

きれいな暮らしやすい住みやすいまち・糸満市について

循環社会づくりについては、リデュース・リユース・リサイクルの3R運動によるごみの減量化・資源化を図るとともに、環境教育の推進など、循環型社会構築にむけた人材の育成と巡回パトロールなど不法投棄対策に取り組めます。さらに、第3次地球温暖化対策実行計画を策定するとともに、COOL CHOICE事業を実践することにより、脱炭素型社会づくりに取り組みます。

豊かな資源をいかし、活気にあふれた糸満市について

農業・水産業の活性化については、青年新規就農者などの育成確保を図るための経営支援・施設・機械整備や、農地中間管理事業などを活用した農地の集約・集積化を図るとともに、豚熱ワクチン接種に関する費用の助成を行うことにより経営・労働環境の強化・充実に取り組めます。また、新たな県営事業である真壁東第2地区と継続中の農業生産基盤施設整備や湛水対策関連事業を推進します。

識を高めるための産学官連携研修に取り組むなど、戦略形成力向上と職員の能力開発に努めます。

また、水産物卸売市場の移転に向け鮮度保持施設や水産物加工施設の整備を促進するとともに、農水産物の生産力・品質・競争力の向上および働き方の見直しに取り組めます。

さらに、企業誘致等に向けて真栄里地区への物流団地等整備事業に取り組む、雇用の創出や多様な産業の振興を図ります。

まちの魅力を高め、発信し、住み続けたいなるまちについて

本市には、自然・歴史・文化・伝統に基づく多彩で優れた観光コンテンツ、良好な交通アクセス環境などの好条件があり、これらの豊かな地域資源に光をあて、魅力ある観光づくりを推進します。

また、首都圏などへの効果的なプロモーションと観光客の市内回遊性向上および魅力ある観光・文化情報の発信に取り組むとともに、沖縄戦終焉の地から平和の尊さを内外に発信することにより、交流人口・関係人口の拡大を図ります。

コミュニティセンター建設や地域活性化支援事業など、各種団体の市民活動を支援するとともに、地域間交流や市民提案型まちづく

さらに、糸満北部地区への農業用水源確保として、国営地下ダム再編計画等を推進し、農業の振興に取り組めます。

糸満市観光農園においては、その活性化に向けて新たな作物となる亜熱帯植物などの事業展開の促進を図ります。

糸満漁港における新水産物卸売市場整備については、令和4年度の開設に向け、県、県漁連、糸満漁協、関係機関と連携し施設整備を促進します。

また、離島漁業再生交付金事業や南部豊かな海づくり大会などを引き続き実施して持続的漁業の振興を図るとともに、(仮称)水産業振興センターにおけるIoTを活用した海ぶどう養殖施設整備などについて、県や関係機関と調整し水産業の振興に取り組めます。

人と人の輪がつながり、みんなで動かす糸満市について

みんなで元気な地域づくりについては、市民活動支援センターと連携し、いといとゆんたく会議や、まち寺子屋(市民大学)など、地域間交流を促進することにより、まちづくりへ参加する意識の醸成を図るとともに、各種市民団体などの活動を支援することにより市民力の強化に取り組めます。